

人事院の実施する研修のカリキュラム例

平成20年度 初任行政研修

～実地体験や討議を多く盛り込んだカリキュラム～

分類	科目(時間数)	時間数	ねらい
体験を通して 行政の在り 方を考える	介護等実地体験	48	社会福祉施設における介護業務等の実地体験を通じて、国民全体の奉仕者としての視点を養う。
	地方自治体実地体験	47	地方自治行政の実地体験や、地域住民との意見交換を通じて、地域の生活実態、住民の意識等についての認識を深める。
	国際協力の現場	3.5	国際協力の最前線で活躍した経験に基づく話を聞き、国際情勢や我が国の国際協力の在り方等について認識を深める。
	日本への期待	3.5	在京外国大使館職員の話や、国際社会における我が国の立場、期待される役割等について認識を深める。
公共政策の 在り方を考 える	政策課題研究	22	府省横断的な政策課題について、講義や班での討論を通じて、長期的な視点に立つ具体的な提言をまとめる。
	政策形成の実際と行政官	2.5	各府省の行政課題を題材とする講義、質疑を通じて、実際の政策形成に当たって必要となる視点や手続等について学ぶ。
	行政政策史	25	歴史的意味の大きい行政事例を題材とする講義や討議を通じて、行政の責任、使命等について考える。
	政策ディベート	12	公共政策に関する討議を通じて、幅広い視点、論理的思考力、相手の意見を的確に把握する力を身につける。
公務員の在 り方を考 える	行政官として	6	有識者から、自らの経験に基づいた行政官の心構えに関する話を聞き、国家公務員としての自覚と使命感を醸成する。
	公務員倫理を考える	3	事例研究などを通じて、倫理的な行動の在り方について検討し、実践への動機付けを図る。
	古典に学ぶ	3	古典を通じて、リーダーとしての心構え・素養について考える。
	人権	2.5	障害者、犯罪被害者等、人権問題に直面した者の話を聞き、現状を認識し、基本的人権に対する意識を高める。
	メディアから見た行政	2	行政の説明責任等に関する講義を通じて、国家公務員としてのメディアとの関わり等について考える。
	公文書の意義とその管理	1.5	行政機関における公文書管理の意義、我が国の現状とその問題点について、講義を通じて理解・意識を深める。
	メンタルヘルス	3	講義や演習を通じて、メンタルヘルスに関する理解を深め、ストレスへの対応について考える契機とする。

○行政研修（課長補佐級） 8日間（通勤3日、合宿5日）

分類	研修科目	技法	時間数
公務員の 在り方を考える	職業と倫理	講義・討議	3
	古典に学ぶ	講義	2～2.5
	文化・文明論	講義	2
公共政策の 在り方を考える	政策課題研究	基調講義 関連講義 班別討議 全体討議	3 2～4 14～15 4
	個別政策研究	班別討議	10.5
リーダーシップ・ マネジメントを学ぶ	コミュニケーション スキル	講義・実習	3
諸行事	開・閉講式 オリエンテーション		3
		合計	48

○行政研修（課長級） 5日間（合宿）

分類	研修科目	技法	時間数
上級管理者の 在り方を考える	行政の在り方	講義	3
	古典に学ぶ	読書研究	6
公共政策の 在り方を考える	政策課題研究	LF	3
	文化・文明論	講義	3
	個別政策研究	班別討議	8～10
リーダーシップ・ マネジメントを学ぶ	マネジメント研究Ⅰ	講義	3
	マネジメント研究Ⅱ	講義	3
諸行事	開・閉講式 オリエンテーション		2
		合計	32～33

(注) 「LF」は、レクチャー・フォーラムの略で、前半に講義を行い、後半に質疑応答・意見交換を行う。

○行政研修（係長級特別課程） 2週間（合宿）

分類	研修科目	技法	時間数
公務員の 在り方を考える	公務員と職業倫理	講義・討議	2.5
	小論文作成	実習	2
公共政策の 在り方を考える	政策課題研究	講義 班別討議 全体討議	6 13 4
	個別政策研究	班別討議	7
	社会情勢・歴史等	講義	3
	政策ディベート	講義・実習	13.5
リーダーシップ・ マネジメントを学ぶ	リーダーシップ研究 (コーチング等)	講義・実習	4
	健康管理	講義	3
諸行事	開・閉講式 オリエンテーション		2.5
		合計	60.5 時間

○行政研修（課長補佐級特別課程） 2週間（通勤1週間、合宿1週間）

分類	研修科目	技法	時間数
公務員の 在り方を考える	職業と倫理	講義	3
	小論文作成	実習	2
公共政策の 在り方を考える	公共政策論	講義	2.5
	政策課題研究	基調講義 関連講義 全体討議 班別討議	3 2.5 4 18.5
	個別政策研究	班別討議	12
	社会情勢・歴史等	講義	2.5
リーダーシップ・ マネジメントを学ぶ	コーチング	実習	3.5
	健康管理	講義	2.5
	古典に学ぶ	講義	2.5
諸行事	開・閉講式 オリエンテーション		3.5
		合計	62 時間

(注)「特別課程」とは、Ⅱ種・Ⅲ種等採用職員のうち意欲と能力のある優秀な者で、各府省が将来の幹部要員として計画的に育成しようとしている者（計画的育成者）を対象とした研修である。